



INDEX

・(一社)日本養鶏協会 第73回定時総会 開催のお知らせ	1
・令和4年度 畜産物価格・配合飼料価格に関する緊急要請について	2
・高病原性鳥インフルエンザ 関連情報	3
・鶏卵生産者経営安定対策事業の見直しに向けた骨子案について	5
・統計データ	6
・協会活動報告	7

(一社)日本養鶏協会 第73回定時総会 開催のお知らせ

令和4年5月30日に開催された第3回理事会において、下記「第73回定時総会」を招集することが決定いたしましたのでお知らせいたします。

ご多用中誠に恐縮でございますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。ご出席できない場合は委任状をご提出頂ければ幸いです。

また、ご意見・ご質問がございましたら、ご意見・ご質問シートにご記入の上、6月22日(水)までにFaxによりご送付をお願いいたします。総会議場において回答を行わせていただきます。なお、総会議事運営の動画を録画し、3ヶ月の間協会WEBサイト上に掲載し会員の方々に対し限定公開することで、開かれた総会運営に努めます。

記

1. 日 時 : 令和4年6月29日(水) 13:00~15:00

2. 場 所 : [大手町サンケイプラザ](#) 3F
東京都千代田区大手町1-7-2
Tel : 03-3273-2230

3. 議 案 : (決議事項)

第1号議案 令和3年度計算書類等に関する件
(公益目的支出計画実施報告も含む)

第2号議案 令和4年度会費の賦課及び徴収方法に関する件

第3号議案 定款の一部変更(第4条関係)に関する件

第4号議案 理事2名の選任に関する件

(報告事項)

令和3年度事業報告

令和4年度事業計画及び収支予算

以上



令和4年度 畜産物価格・配合飼料価格に関する緊急要請について

配合飼料価格の高騰については他畜種の生産者団体と団結して飼料価格の高騰対策や支援措置について政治・行政に訴えてきたところです。

今般、「総合農林政策調査会（江藤会長）・食料安全保障検討委員会（森山委員長）・農林部会（築部会長）・畜産酪農対策委員会（伊東委員長）合同会議」が令和4年5月31日に自民党本部で開催され、農林水産省から畜産物価格と配合飼料価格等について状況説明がなされ、活発な議論の後、各畜種の生産者団体から団体要請がされました。

（一社）日本養鶏協会からは米山副会長が出席し、現下の養鶏産業の厳しい現状を訴え、安定事業についても生産者に寄り添った制度運用を図るなどの要請書を自民党に提出しました。

令和4年5月31日

畜産物価格・配合飼料価格に対する緊急要請

一般社団法人 日本養鶏協会 会長 杉原 勲

我が国の養鶏産業の振興につきましては日頃より格別のご支援とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

鶏卵は95%前後の自給率を堅持し、廉価で安定的な消費者価格を実現し国民の健康と食生活を支えています。

コロナ禍で業務・加工用需要が大幅に減り、先を見通せない鶏卵需給の中、経営コストの約6割を占める配合飼料価格が高騰し価格転嫁もできず、加えてロシアによるウクライナ侵攻が穀物等の資材高に拍車をかけ鶏卵生産者の経営は危機に瀕しています。

今次の危急存亡の事態を乗り切って鶏卵生産者が生き残って健全な経営を維持していくためには、思い切った経営支援措置がぜひとも必要です。

以上の実情を勘案し、鶏卵生産者が将来とも安定した経営を継続できるよう以下の点につき最大限の取組みと特段のご配慮をお願いします。

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業について

- (1) 補填基準価格の期中改定、生産者積立金の減額変更などにより可能な限り厳しい時期の生産者の負担を減らすこと。
- (2) 将来の緊急事態に備える意味でも、当該事業を畜産経営の安定に関する法律に位置付けること。

2. 配合飼料価格安定制度について

- (1) 配合飼料価格安定制度の継続と改善を図り、配合飼料価格の激変緩和措置を通じて経営の持続的な安定を図ること。
- (2) 養鶏経営の安定のため、配合飼料価格安定基金の財源について一層の充実と強化を図ること。

3. 鶏卵の価格転嫁が可能となるよう環境整備を進めること。



高病原性鳥インフルエンザ 関連情報

過去最も遅い時期での発生を更新

— 引き続き強い警戒感が必要、情報把握をしっかりと！

5月に入っても、東北・北海道地域で高病原性鳥インフルエンザが発生し、これまでで最も遅い時期での発生を更新しました。

引き続き、発生の可能性が高い状況にありますので、近隣での野鳥の発生情報をしっかりと把握していただき、今一度飼養衛生管理基準を確認し、衛生対策の徹底をお願いします。



- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 人・車両等による侵入の防止 | (5) 鶏の健康管理及び取扱い |
| (2) 野鳥・野生動物による侵入の防止 | (6) 鶏糞の処理 |
| (3) 飲用水・飼料の汚染による侵入の防止 | (7) 鳥インフルエンザに対する理解と教育 |
| (4) 鶏舎内外の整理・整頓・清掃 | |

■ 鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■ 高病原性鳥インフルエンザに関する情報（環境省）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

■ 飼養衛生管理基準について（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/

■ 飼養衛生管理基準ガイドブック「鶏その他家きん編」（中央畜産会）

https://jlia.lin.gr.jp/eiseis/pdf/shiyoeiseikanrikijun_gb_tori.pdf

■ 飼養衛生管理基準チェックリスト（中央畜産会）

https://jlia.lin.gr.jp/eiseis/pdf/check/check_list_tori.pdf



令和4年 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和4年1月～）

地域	疑似患畜判定日	用途	羽数	亜型
愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約 8.3 万羽	H5N1
愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約 14.2 万羽	H5N1
愛媛県今治市（関連農場）	1/4	採卵鶏	約 0.6 万羽	-
鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約 5.4 万羽	H5N1
鹿児島県長島町（関連農場）	1/13	肉用鶏	約 5.7 万羽	-
千葉県八街市	1/19	肉用鶏	約 6.6 万羽	H5N1
千葉県匝瑳市	1/26	あひる	約 0.17 万羽	H5N1
千葉県匝瑳市（関連農場）	1/26	あひる	約 0.12 万羽	-
茨城県かすみがうら市（関連農場）	1/26	あひる	約 0.11 万羽	-
埼玉県春日部市（関連農場）	1/26	あひる	約 0.14 万羽	-
埼玉県熊谷市（関連農場）	1/26	あひる	約 0.04 万羽	-
岩手県久慈市	2/12	肉用鶏	約 4.5 万羽	H5N1
宮城県石巻市	3/25	肉用種鶏	約 3.2 万羽	H5N1
青森県横浜町	4/8	肉用鶏	約 17 万羽	H5N1
青森県横浜町	4/15	肉用鶏	約 11 万羽	H5N1
北海道白老町	4/16	採卵鶏	約 52 万羽	H5N1
北海道網走市	4/16	だちょう（エミュー） 採卵鶏	約 500 羽 約 100 羽	H5N1
秋田県大仙市	4/19	採卵鶏	約 400 羽	H5N1
北海道釧路市	4/26	だちょう（エミュー）	約 100 羽	H5N1
岩手県一関市	5/12	だちょう（エミュー）	10 羽	H5N1
北海道網走市	5/14	採卵鶏	760 羽	H5N1



鶏卵生産者経営安定対策事業の見直しに向けた骨子案について

農林水産省は、令和4年4月26日(火)に開催した鶏卵生産者経営安定対策事業検討会(第3回)において、「鶏卵生産者経営安定対策事業の見直しに向けた骨子案」を説明し、了承されました。その概要は、以下のとおりです。

「鶏卵生産者経営安定対策事業の見直しに向けた骨子案」の概要

1. 需給調整機能の実効性向上
 - (1) 成鶏更新・空舎延長事業の発動の早期化
 - (2) 成鶏更新・空舎延長事業において、現行より長い空舎期間を新設
 - (3) 成鶏更新・空舎延長事業の発動期間から1月を除外(ただし、農林水産省と協議の上、状況に応じて発動することは可能)
2. 加入率の維持・向上
 - (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業の契約数量を月ごとに日数に即して設定(年間契約数量/365×当該月の日数)
 - (2) 小規模生産者について、成鶏更新・空舎延長事業の対象期間を、現行の前後30日間から拡張
 - (3) 生産者からの電子申請を可能とする
3. 事業全体の実効性向上
 - (1) 鶏卵の機能性等についての情報を発信
 - (2) 餌付羽数調査に基づく生産予測等を実施することにより、確度の高い需給見通しを作成
 - (3) 鳥インフルエンザや自然災害等による鶏卵需給への影響が想定される場合には、事業発動が停止できる仕組みを構築
 - (4) 高卵価時の追加積立発動基準について、過去の卵価実績から設定

なお、骨子案は、農林水産省のWEBサイトに掲載されています。

■ 鶏卵生産者経営安定対策事業検討会 第3回 配布資料(農林水産省)

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/shokuniku/lin/attach/pdf/keiran_kentoukai-7.pdf

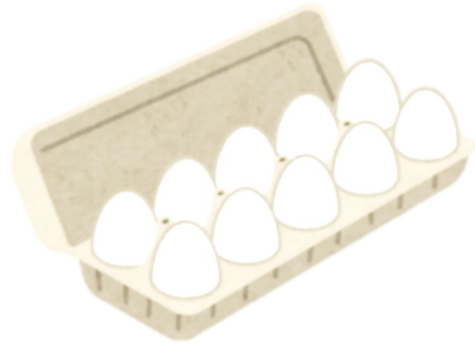
統計データ



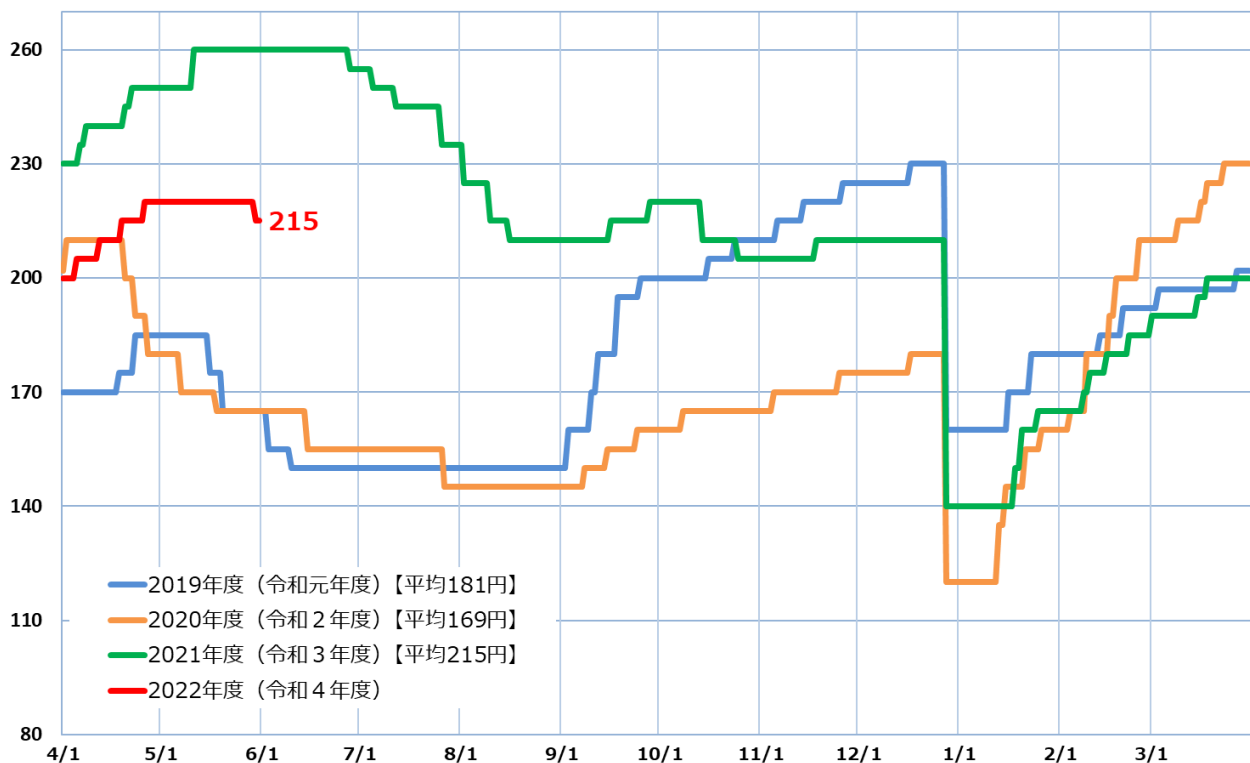
鶏卵相場動向 — 過去10年間の5月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成25年	164	198	154
平成26年	204	238	194
平成27年	230	253	224
平成28年	204	233	194
平成29年	216	250	191
平成30年	165	188	159
令和元年	173	203	159
令和2年	168	200	159
令和3年	258	280	244
令和4年	219	240	209
平均値	200	228	189

令和4年5月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値240円は、過去10年の平均値228円を12円上回り、安値209円は、過去10年の平均値189円を20円上回っています。



鶏卵相場推移 2019年度～2022年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は、4月末に220円に上昇した後、5月中も220円でしたが、月末215円に下がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和4年3月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
3年 4月	9,654	103.9%	476	94.5%	978	94.4%	202	241
5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
6月	10,083	107.8%	476	100.9%	882	94.3%	160	259
7月	9,867	100.0%	462	95.2%	903	93.5%	153	245
8月	8,140	98.1%	451	101.6%	915	98.3%	145	215
9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
11月	9,057	101.2%	485	102.8%	924	97.4%	171	207
12月	9,574	111.3%	526	99.3%	946	93.9%	178	210
4年 1月	8,535	100.2%	461	101.8%	927	97.5%	142	151
2月	8,670	97.5%	450	102.4%	895	97.3%	183	175
3月	9,248	102.3%	515	101.8%	959	101.7%	220	195
1年間合計 平均(%)	110,631	103.1%	5,696	99.5%	11,177	96.7%	170(平均)	215(平均)

- ・雛餌付羽数は、9,248千羽（前年比102.3%）と前年比2.3%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、515千トン（前年比101.8%）と前年比1.8%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、959グラム（前年比101.7%）と前年比1.7%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の25円安を示しました。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との
契約数量（トン/月当たり）

令和 元年度	167,141
令和 2年度	163,160
令和 3年度	153,391
令和 4年度	149,558

②令和4年5月 標準取引価格 215.83円/kg

③鶏卵価格差補填事業

補填基準価格 181円/kg

安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel: 03-3297-5515 Fax: 03-3297-5519 発行日: 2022年6月3日

編集・発行責任者: 浅木 仁志(info@jpa.or.jp)